



東部保健所 感染症情報

別府地域（別府市・杵築市・日出町）
2020年第38週（9月14日～9月20日）

◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために◆
「新しい生活様式」を実践しましょう

基本的な感染対策

- こまめに手洗い・手指消毒
- 咳エチケットの徹底（外出時はマスク着用）
- 3密（密集・密接・密閉）を避ける
- 人との間隔はできるだけ2m（最低1m）
- 会話は可能な限り真正面を避ける
- 窓を開け、こまめな換気（1時間に5～10分程度）
- 地域の感染状況に注意する

Icons: 密集回避, 密接回避, 密閉回避, 換気, 咳エチケット, 手洗い

○ヘルパンギーナの発生報告数が先週より減少し警報終息レベル以下になりました。

ヘルパンギーナは、発熱と口腔粘膜にあらわれる水疱性発疹を特徴とする、夏場に流行がみられる急性ウイルス性咽頭炎で、いわゆる夏かぜの代表的疾患です。感染経路としては、ウイルスが手などを介して口に入ることによるもの（経口感染）と、せきやくしゃみによるもの（飛沫感染）があります。潜伏期は2～4日で、突然発熱し、咽頭粘膜が赤くなり、口腔内に小水疱が出現します。小水疱はやがて破れて浅い潰瘍となり、痛みを伴いますので、栄養不足や脱水に注意が必要です。有効な治療薬などはありませんので、感染者との密接な接触を避け、うがいや手洗いの励行などを行い、予防に努めることが重要です。

（RSウイルス感染症について）

例年と比較しこの時期から流行が見られるRSウイルス感染症の患者数が激減しています。手洗い・うがい等は感染予防に有効なので、引き続き励行しましょう。

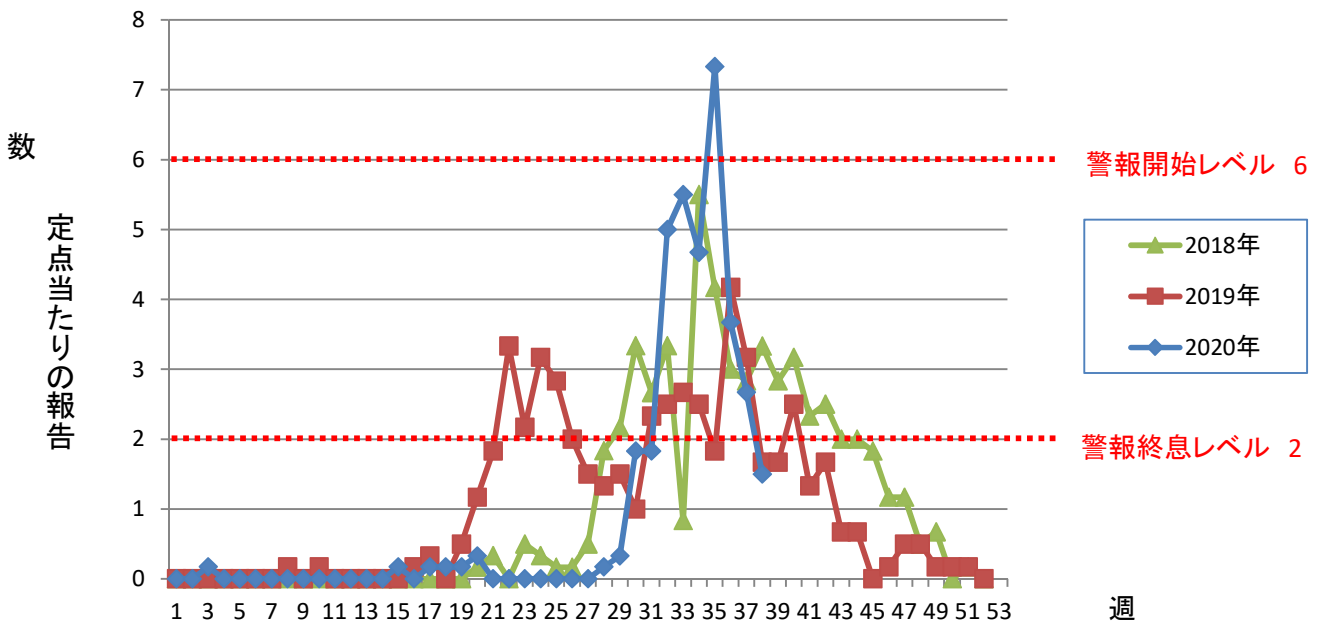
	1 インフルエンザ			2 RSウイルス感染症	3 咽頭結膜熱（プール熱）	4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5 感染性胃腸炎	6 水痘（水ぼうそう）	7 手足口病	8 伝染性紅斑（リンゴ病）	9 突発性発しん	10 ヘルパンギーナ	11 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	12 マイコプラズマ肺炎
	A型	B型	不明											
0歳							0.83				0.33	0.17		
1～3歳							1.17	0.17			0.50	1.17		
4～6歳						0.67	1.17	0.17				0.17		
7～9歳							1.00	0.33						
10～14歳							1.50							
15～19歳							0.17							
20歳以上							0.33							
今週						0.67	6.17	0.67			0.83	1.50		
70歳以上 （再掲）														
前週						0.33	9.00				0.67	2.67		

※指定された医療機関（定点）から報告された患者数を、1定点あたりに換算して計上

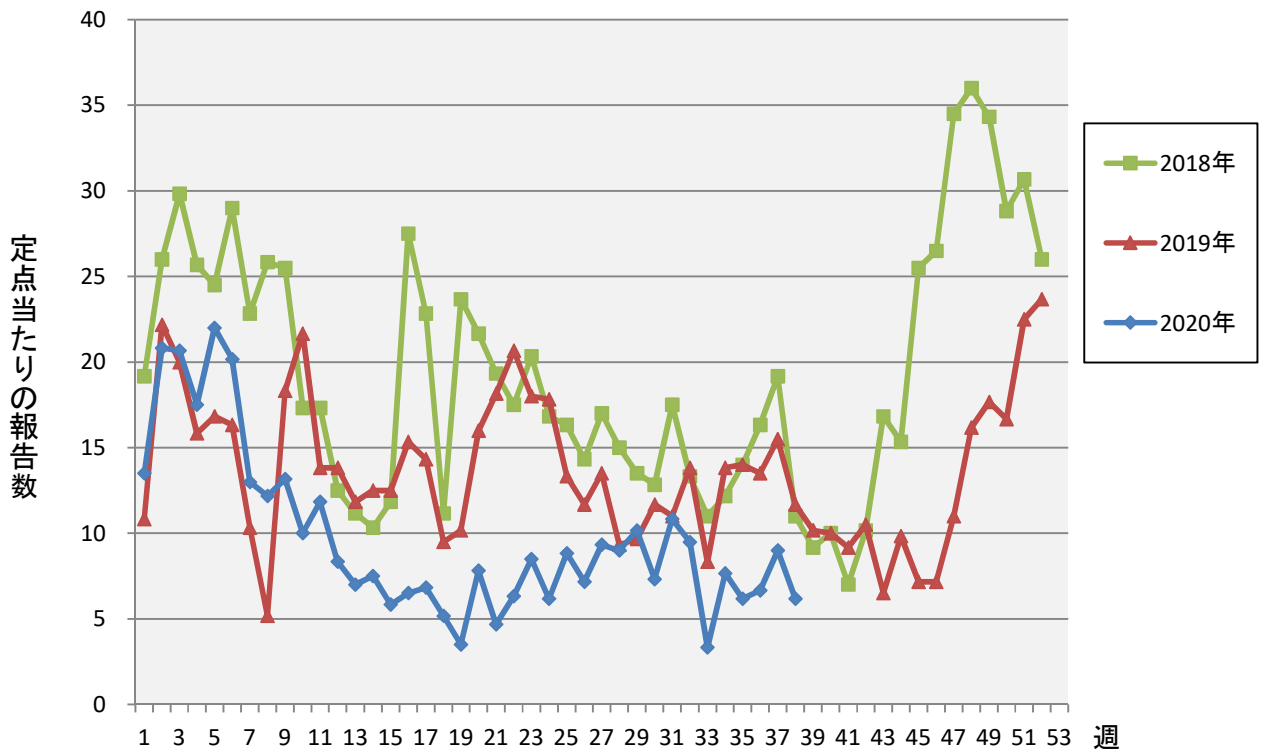
麻しん（全数報告）	風しん（全数報告）

累計0 累計0
全医療機関
から報告さ
れた患者数

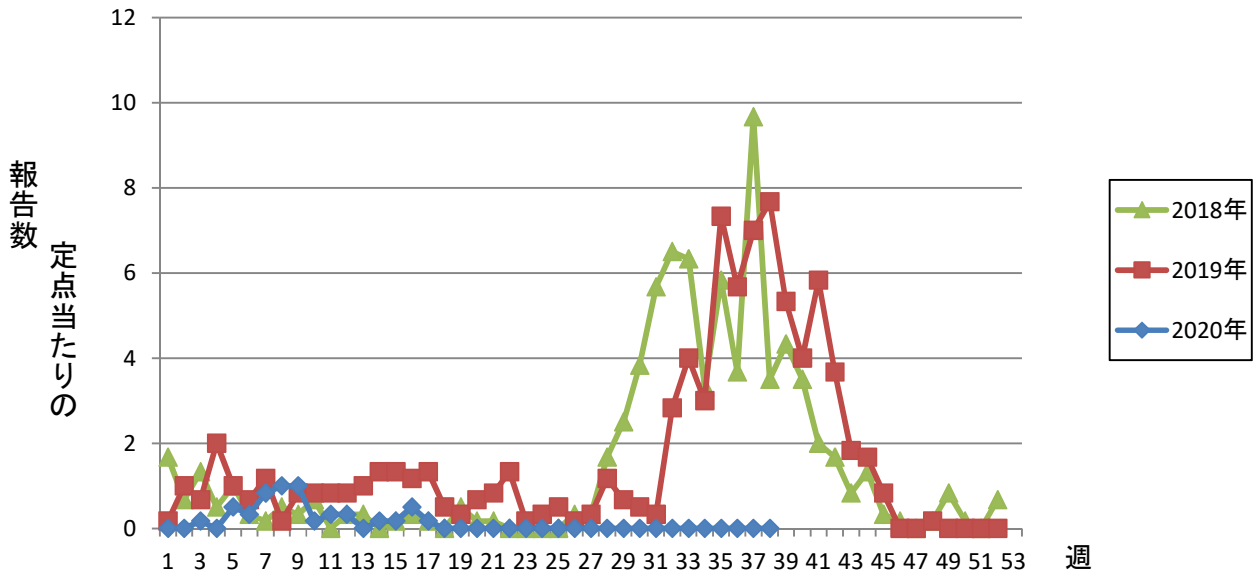
別府・杵築・日出地区におけるヘルパンギーナ患者数の推移（過去3年間）



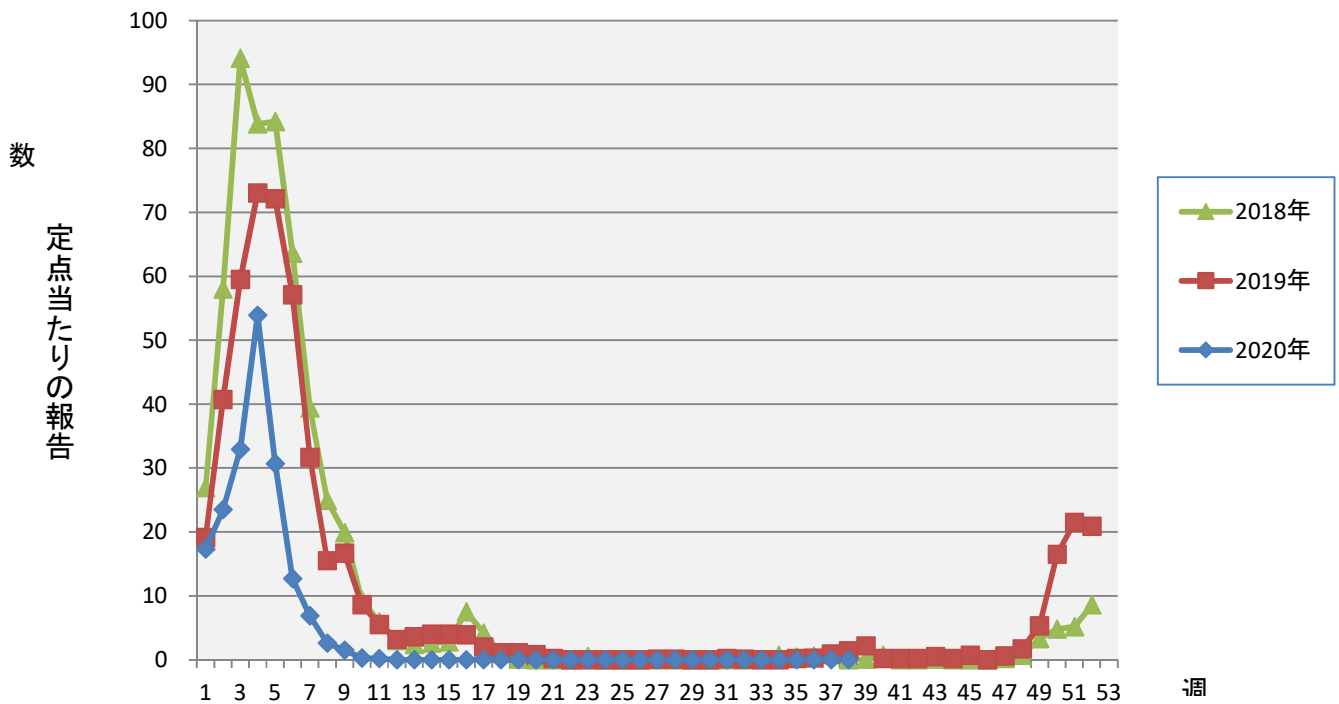
別府・杵築・日出地区における感染性胃腸炎患者数の推移（過去3年間）



別府・杵築・日出地区におけるRSウイルス感染症患者数の推移（過去3年間）



別府・杵築・日出地区におけるインフルエンザ患者数の推移（過去3年間）



休診日



電話 (代) (0977) 67-2511

FAX (0977) 67-2512